

FUKUCHI

Public
Relations

福くち

躍動

ATHLETE OF
FUKUCHI

福智のアスリート。

【野球】
平元銀次郎
安在悠真
金田Jrクラブ
【サッカー】
中村颯真

【弓道】
原口勝利／佐藤泉
【アームレスリング】
山本光明
【バドミントン】
細川未久／宮本菜々都
大井夢叶／長谷川彩希
【柔道】
杉虎乃介
【陸上】
井上憲治

2017
11

8月22日、甲子園準決勝で強打の天理高校を相手に力投する福智町出身で広陵高校のエース、平元銀次郎投手。今月号は多方面で躍動した福智のアスリートたちの物語や姿を特集します。

「甲子園での躍動」

広陵高等学校

甲子園常連校、広島代表広陵高校の背番号「1」。
チームを3年ぶりの甲子園に導いたエース左腕。

Ginjiro Hiramoto

平元銀次郎

野球にかけた、三年間。

ATHLETE OF FUKUCHI

躍動、
福智のアスリート。

全国4千校、16万人の高校球児の夢の舞台、甲子園。阪神甲子園球場を舞台に、14日間の熱戦が行われた第99回全国高校野球選手権大会で、福智町出身の平元銀次郎投手が所属する広陵高校は、10年ぶり4回目の準優勝を果たしました。

広陵高校は部員数142人、夏の甲子園に22回の出場経験を持つ広島県屈指の名門校。1回戦から優勝候補との対戦が続く中、ほぼすべての試合に先発した平元投手は、恵まれた長身と長い手足から繰り出すストリートを武器に、強打者たちをことごとく封じ込め、決勝に進出。前評判を上回る躍進に、広陵高校と平元投手への期待と関心は日増しに高まっていました。

周囲から常に甲子園出場の期待を受ける広陵高校で、1年生から試合に出場する平元投手。故郷を離れ、家族や友人と過ごす時間、自分のための時間をすべて野球に費やしてきました。今とこれからの人生をかけた魂の3年間。福智が生んだエースを迎えた初の甲子園。最後の夏に見せた躍動と、そこに至るまでのみちのりをご紹介します。

2回戦、対秀岳館高校戦で大会屈指の重量打線を誇る優勝候補を相手に、110球の力投で8回1失点に抑えた平元投手。

才能伸ばした指導と 中2で決めた本人の覚悟

平元投手が野球を始めたのは金田小2年生の頃。野球経験者の父・^{まさあき}征明さんが礼儀を学ばせようと地元の金田Jrクラブを見学したことがきっかけでした。入部当初は野球のルールも全く知らなかった平元投手ですが、すぐにその才能を発揮。指導した^{しまだ}寫田監督は「始めてボールを投げたとき、しなやかな腕の振りを見せ『この子は違う』と思った」と印象を語ります。4年生で試合に出場し始め、チームの中心となった平元投手は6年生の時、プロ12球団が編成するジュニアチームで、約5百人の中から18人の選手に選抜。「福岡ソフトバンクホークスジュニア」のエースとしてベスト4入りに貢献し、県大会では延長8回で22奪三振を記録するなど、輝かしい実績で二躍注目される選手となりました。

金田中入学後は田川地区を拠点に活動する硬式野球チーム、西日本スコピオンに入部。部員数も少なく、目立った成績をあげるチームではありませんでしたが、父・征明さんも指導を受けた坂本年^{としあき}昭監督を慕っての入部でした。



広陵高校への進学を決めたのも坂本監督の勧めがあったとのこと。中学2年生の3月、広陵の練習を見学してすぐに進学を決意。父と祖母の3人暮らしの家庭を離れ、野球に打ち込む覚悟を決めました。真摯に野球と向き合い、ひたむきに努力を続ける平元投手の姿勢は寫田監督と坂本監督、2人の指導者から受けた「人間性を重視する指導」によって培われました。



上 / スタンドを学校のテーマカラーであるえんじ色に染めた広陵応援団。左 / 8月23日の決勝戦、全ての球児が憧れる満員の阪神甲子園球場。右 / 今と変わらないダイナミックな投球フォームの小学校時代。

ATHLETE OF FUKUCHI

躍動、
福智のアスリート。

強豪の重圧と挫折 一生の仲間との出会い

全国からの新入部員が50人を超える広陵高校。全員が寮で生活し、携帯電話の所持も禁止。公衆電話は月に1回5分以内。帰省は年1

全力投球の姿に 子どもたちが重ねた夢

8月23日、迎えた広陵高史上初の優勝をかけた決勝のマウンド。先発は平元投手。本調子からほど遠く、準決勝の先発を見送られた中で、中井哲之監督の「最後はエースの銀次郎」との期待を背負っての起用でした。惜しくも昨年夏に亡くなった坂本監督の遺影もスタンドで見守った一戦でしたが、結果は実力を出し切れず敗退。3年間追い続けた目標にはわずかに届きませんでした。観戦した寫田監督は「本人は納得していないかもしれないが、銀次郎は子どもたちに夢を与えてくれた。ありがとうと伝えたい」と健闘を讃えました。

母校の金田中でも関係者や在校生が決勝戦を観戦するなど、町全体が注目した夏の甲子園。平元投手の全力投球は町に感動を与えました。熱戦から1か月後、甲子園で優秀な成績を納めたチームらが参加する愛媛国体に出場した広陵高校は、ついに、頂点の優勝をつかみ、有終の美を飾ります。



↑役場でのパブリックビューイングに駆けつけた金田Jrクラブも、試合終了まで声援を送り続けた。

国体で登板した平元投手は「甲子園では悔しい思いをしたけど、最後にやっと念願の日本一になることができた」と喜びを語りました。「今しかできないことに全力で取り組みんでほしい。その経験がいつかきつと役に立つと思う」と福智町の子どもたちにエールを送った平元投手。卒業後は長年の夢であるプロ野球選手を目指し、さらなる力をつけるため大学への進学を予定しています。平元投手の甲子園決勝を観戦した金田Jrクラブの相浦^{たろう}颯太郎くん（金田小6年）は「平元選手が2回にタイムリーヒットを打ったときは絶対に逆転できると思っていた。自分もいつか甲子園に出たい」と目を輝かせました。

平元選手がその姿で見た夢は次の世代にとって、リアルで大きな目標として受け継がれていきます。



決勝の対花咲徳栄高校戦で2回裏に自らタイムリーヒットを放つ平元投手。

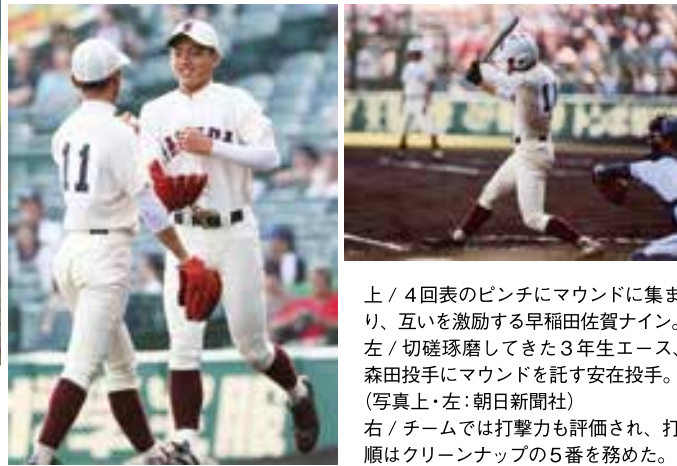
平元 銀次郎（広島広陵高校3年生）
Ginjiro Hiramoto

● 1999年9月30日生 金田出身

180cm 73kg、左投左打。しなやかなフォームから繰り出すキレのある最速146キロのストレートと多彩な変化球が武器。プロのスカウトも注目する本格派左腕。



安在 悠真（早稲田佐賀高校2年生）●2000年8月1日生 赤池出身
169cm 64kg 左投左打。得意球種はスライダーとチェンジアップ。コースを突くコントロールと物怖じしない精神力で、打たせて取る投球が持ち味。



上 / 4回表のピンチにマウンドに集まり、互いを激励する早稲田佐賀ナイン。
左 / 切磋琢磨してきた3年生エース、森田投手にマウンドを託す安在投手。
（写真上・左：朝日新聞社）
右 / チームでは打撃力も評価され、打順はクリーンナップの5番を務めた。



後ろに控える森田投手を信じ、初回から全力投球する安在投手。（写真：朝日新聞社）



右 / 新チームは1・2年生合わせて27人。安在投手は唯一の夏のレギュラー経験者として、チームをけん引する。
左 / 投手専属の選手に行われる監督からのノックを、遅くまでこなす安在投手。
下 / 父も汗を流し、中学時代まで練習に励んだ赤池球場に掲げられた横断幕。ベアーズを始め多くの人が活躍を応援した。



悲 願の甲子園初戦、対戦相手は宮崎県代表の聖心ウルスラ学園。先発した安在投手は持ち前の精神力で緊張することなく、1回を三者凡退に抑える安定の立ち上がりでした。しかし4回、痛恨の失点を許し、降板。マウンドを森田投手に託して、ともに闘ってきたエースが後続を抑える姿を目に焼き付けました。その後も安在投手は1塁を守り継続出場。チームは7回に2点を返すなど奮闘しましたが、5対2で敗れ初戦突破は叶いませんでした。試合後、肩を落とす安在投手に森田投手が手を差しのべます。「次はおまえが

やってくれ。甲子園で勝ってくれ」。その激励を胸に、安在投手は再起を約束し、甲子園を後にしました。
3年生の引退後、新チームの中心となった安在投手は、課題である球威や体力面の改善を目標に、一層厳しい練習を重ねています。「育んでくれた福智町に恩返しをしたい」といつも思っています。応援し支えてくれた方々にもう一度甲子園で投げる姿を見せたい」と抱負を語りました。大会前、出場は夢のように語った安在投手。今では目の前の目標となった甲子園を目指し、最後のシーズンでさらなる飛躍を誓います。

創 部8年目の早稲田佐賀高校が予選を勝ち抜き、初の甲子園出場を果たしました。躍進の立役者の一人、2年生左腕の安在悠真投手。169センチと野球選手としては小柄な体格ながら、正確なコントロールとピンチに動じないマウンド度胸を武器に、主に先発投手として活躍。3年生の森田直哉投手との2枚看板としてチームを初の快挙へと導きました。

きるか、野球について深く考える転機になった」と当時のことを振り返ります。高校進学時、県内外で進路を検討する中で、見学した早稲田佐賀高校が掲げる文武両道の校風に魅力を感じたという安在投手。同行した父の「いい練習をしている。この高校は近いうちに甲子園に行く」と言葉に後押しされ、故郷を離れて進学する決意を固めました。
入学後は、古賀一則監督の「自分で考え、課題を見つける」方針を吸収してさらに力を伸ばし、エースの森田投手の負傷を支え、1年の秋から先発投手の座を獲得。自分以外のレギュラーは全員上級生という環境で「自分は普通のピッチャー」と常に慢心せず練習に励み、今回の躍進につながりました。

佐賀県代表、早稲田佐賀高校が初の甲子園出場。快挙を支えた福智出身のもう一人の左腕。努力の末につかんだ、夢のマウンド。

「早稲田佐賀高校」
安在 悠真
Yuma Anzai

ATHLETE OF FUKUCHI
躍動、
福智のアスリート。

KYUDO

佐藤 泉

Izumi Sato

● 1974年9月17日生 金田出身

練士5段。弓を引く姿に憧れ高校から弓道を始める。幾度かの休止を乗り越え実力を磨き、所属する福智町弓道連盟では若くして指導を行う実力者。



「矢を射るときは、的より自分自身の内面に意識を集中すると語る佐藤さん。出場選手109人中24人の決勝進出者に入る活躍。」

東京 京で10月21日から2日間行われた全日本弓道遠的選手権全国大会に初出場を決めた佐藤泉さん。以前は育児のため弓道の練習を休まざるを得ませんでしたが「育児が明け、弓を引けることがうれしくてたまらなかった」との思いを鍛錬に込め、今回の躍進につながりました。復帰後「苦手だった遠的が不思議と当たるようになった」と声を弾ませた佐藤さん。県大会、九州大会と順調に出場を重ね、今年ついに全国への切符をつかみました。全国の予選では高い集中力を見せ、6射全てを的中させて決勝進出。しかし連日の疲労と

緊張から、決勝では惜しくも入賞を逃しました。悔しい結果にも「広い会場や大声援など独特な空気感を味わえた」と純粋に競技を楽しんだ佐藤さん。もう一度最高峰の舞台に立つことを夢見て、「心に弓を引き続けま



↑ 遠的で60m先に設置される、直径1mの「露的」。言葉以上に狙いづらい。

初の全国大会で決勝進出 自分自身と向き合う高い集中力

BASE BALL

金田Jrクラブ

Kanada Jr Baseball Club

2年前に甲子園優勝を果たした福島孝輔投手や平元銀次郎投手など優秀な選手を多数輩出する強豪チーム。「感謝と礼儀なくして技術の向上無し」をスローガンに、野球以外にも人格を育む指導を行っている。



↑ 6月から「田川連盟旗」「鹿児島親善少年野球大会」「虹の松原旗争奪九州・山口少年野球大会」「田川連盟金鷲旗」の4大会で毎月優勝。

少年野球 チーム、金田ジュニアクラブが6月から4か月連続で優勝旗を手にしました。指導歴16年の嶋田監督も「今年の活躍は5年前の銀次郎の世代以来」と笑顔をのぞかせます。中でも8月の「虹の松原旗争奪九州・山口少年野球大会」は64チームが参加する大きな大会。クラブが20年以上参加し続けてきた目標の一つで、悲願の初優勝でした。「試合では元気に一生懸命練習する子を使う。野球ができる今の環境を大切にしたい」との監督の言葉通り、真剣に野球と向き合い結果を残し続ける選手たち。練習では監督不在で



↑ 時には厳しい言葉をかけながらも、選手に合わせた的確な指導で敬愛される嶋田英志監督。

も手を抜かず、自主的に励みます。最大の目標は県内350チームの頂点に立ち、全国大会へ出場すること。より高い目標を目指し、今日もグラウンドに大きな声が響きます。

ATHLETE OF FUKUCHI

KYUDO

原口 勝利

Katsutoshi Haraguchi

● 1960年4月12日生 神崎出身

教士6段。近の大会では昨年まで3年連続で全国大会に出場。通常は10年以上かかる教士への昇進をわずか3年で果たすなど多くの実績を重ねる。



↑ 周囲に張り詰めるような緊張感を漂わせる、矢を放つまでの洗練された所作は、経験者からも弓道の型の手本のようにと評される。

近的に続き遠的でも全国出場 鍛錬に裏打ちされた自信と平常心

佐藤 藤さんと同じく、全日本弓道遠的選手権全国大会に初出場を決めた原口勝利さん。多数の入賞歴を持つ原口さんですが、競技を始めたのは30歳を過ぎてから。打ち込んできたバスケットボールに体力的不安を感じていたころ、近所の経験者の勧めを受けてのスタートでした。トラック運転手の不規則な勤務の合間に打ち込む週3回の練習。「いつも通り引けば、いつも通りあたる」とあくまで平常心で試合に臨み結果を残してきました。そして10月21日に迎えた全国大会。決勝進出がかかる最後の1射は、強雨の中わ



↑ 福岡県から男女3名ずつが全国大会に進める中で、福智町から2名進出したのは異例の快挙。

ずかに的の下にそれました。「最後に雨で目測を誤った。まだまだです」と目を細めた原口さん。これから福智町の弓道をけん引する存在として、さらなる高みを目指します。

FOOT BALL

中村 颯真

Soma Nakamura

● 2007年1月24日生 赤池出身

ポジションはFW。金田SSCに所属後に、小学4年生でアビスパ福岡ジュニアユースに合格。ゴールへの意識と持久力を指導者から高く評価されている。



「岡崎選手のような泥臭くもチームに貢献するプレーを意識し、高い持久力で試合後半まで相手にプレッシャーを与え続けるのが持ち味。」

厳しい競争を勝ち抜き海外へ 世界のレベルを肌で感じた10日間

市 場小5年の中村颯真くんが、将来プロを目指すジュニア選手を育成するASLJ選抜に合格し、9月10日から10日間の海外遠征に参加しました。全国から有力な選手が集まるセレクションで、倍率8倍の厳しい選考を突破。ドイツとスペインで優秀な選手たちとの試合や練習をする貴重な機会を得ました。昨年からJリーグの下部組織に所属し、高レベルの環境に身を置く中村くん。週4回、福岡市でのチーム練習に向かい、帰宅後も自主練習を行い技術を磨いています。「サッカーはいつも楽しい。練習をつらいと思っ



↑ 自分より大きく、動きの速い海外の選手と対戦し、先の動きを読む大切さを知ったという中村くん。

たことはありません」と笑顔で答えた中村くん。夢は憧れの日本代表、岡崎選手のような世界で活躍するプレイヤー。海外で得た経験を糧に、さらに高いステージを目指します。

JUDO

杉 虎乃介

Toranosuke Sugi

● 1999年4月5日生 伊方出身

階級は100kg超級、得意技は払腰。6歳で柔道を始め、多くの実績を挙げる。高校進学後は勝負強さを買われ、先鋒として1年生からレギュラーに定着。



↑ 厳しい走り込みで培った体力と130kgの体重を感じさせない軽快な動きを武器に、予選から全試合で勝利を収めた杉選手。

**柔道に打ち込み続けた3年間
高校生活の集大成を飾った全国ベスト8**

分県の強豪校、柳ヶ浦高校3年の杉虎乃介選手が8月に山形県で行われた全国高等学校柔道選手権大会の団体戦で好成績を納めました。杉選手はほぼ全試合に出場し、引き分けすらなく全て勝利。柳ヶ浦高校史上最高成績となるベスト8入りに大きく貢献しました。有力選手が各地から集まり、厳しい練習で知られる同校。「16km走り、そのまま練習」ということもあった。つらかったけど苦しいときに力を発揮できる体力と精神力を養えた」と振り返ります。全力を尽くした試合後に「柔道が好きで

す。これからも柔道を続けたい」と語った杉選手は、卒業後、山口県の強豪・徳山大学に進学予定。大学でも柔道に打ち込み、もう一つの目標である教師になる夢も追います。



↑「全部出し切った。後悔はありません」と語り、試合後に仲間たちと笑顔を見せる杉選手(左下)。

ARM WRESTLING

山本 光明

Mitsuaki Yamamoto

● 1969年4月6日生 金田出身

腕力に自信があったものの、25歳の頃に参加した大会の2回戦敗退を機に競技にのめり込む。自ら指導を行いつつ、息子2人と一家で技術と力を磨く。



↑ 得意の右腕では倍ほども年の離れた長男の翔也くんを圧倒。常人の太ももほどに太い両腕は40kgのダンベルを片腕で持ち上げる。

**自慢の左右の腕で3階級入賞
年齢差を跳ね返す鍛え上げられた肉体**

塚市で9月24日に行われた第9回九州アームレスリング選手権大会に出場した山本光明さん(48)が、3階級で入賞を果たしました。山本さんは今大会に向け、初めて大幅な減量を実行。半年前には90kg以上あった体重を15kgも落とし、大会に臨みました。自分より若い出場選手が大多数を占める中、3つの階級で20回以上対戦。右腕の75kg級で優勝、85kg級で準優勝、左腕の85kg級で3位入賞と圧倒的な成績を残しました。大会後も仲間たちとの実戦練習や自宅でのウェイトトレーニングを欠かさず続ける山本さん。



↑ 3階級でメダル獲得の活躍で、全出場者から1名に贈られる敢闘賞も受賞。

「目標は東京オリンピックの年に開催されるアジア選手権。やれなくなるまで競技を続けたい」と額の汗をぬぐいました。2020年には52歳を迎える山本さんの「年齢を超えた挑戦」はこれからも続いていきます。

ATHLETE OF FUKUCHI

RUN

井上 憲治

Inoue Kenji

● 1956年6月18日生 金田出身

日本体育大学を卒業後、体育教師として赤池中に赴任し、伊方小・市場小などで校長を歴任。マスターズでは毎年優勝候補で、100mのベストは12秒62。



↑北九州市で10月22日に行われた全九州マスターズ陸上の60歳以上の部に参加した井上さんは60m走、100m走、200m走全て優勝。

**大切なのは目標を掲げ挑む努力
走り続ける姿で伝えるスポーツの力**

現役ランナーとして、60歳を超えた今も走り続ける井上憲治先生。学生時代は長距離走に打ち込み、56歳で始めた短距離走では、年齢別の大会で毎年優勝候補に挙がる実力者です。「短距離では逆に息子が先生。スポーツに年齢は関係ない」と校庭を走る子どもたちを見つめます。退職後も市場小で講師として子どもへの体力向上を支え、希望する児童には放課後でも走り方や練習方法を教える井上先生。「運動が苦手な子や競争に負けた子も、自分の成長を感じたときに喜びを実感できる。無駄な努力は一つもないんで



↑8月、青の勝負着で挑んだ宮崎大会で全国1位の選手を相手に僅差の2位。

す。人と競うことより、大切なのは自ら目標を掲げ、それを越えようとする努力」と力を込めて語りました。中学で陸上と出会い、駆け抜けた50年。スポーツが持つ力を誰よりも知る井上先生は、走る姿でその魅力を伝えるアスリートであり続けます。

特集／躍動、福智のアスリート。【完】

BATON TWIRLING

近畿大学附属福岡高校 バトン部

Kindai University Fukuoka High School Baton Club

学問とスポーツの両面で優秀な成績を納める近畿大学附属福岡高校(飯塚市)。世界大会出場、全国大会出場などの実績を持つバトン経験者が部員15人中4人。未経験者とのバランスにも優れたチーム。



↑ 福岡出身の4人。3年の細川未久さん(中央上)、2年の長谷川彩希さん(右)、宮本葉々郁さん(中央下)、大井夢叶さん(左)。

**心一つに臨んだ九州予選
チームの結束でつかみとった金賞**

福岡 智町出身の4人が所属する近畿大学附属福岡高校のバトン部が、10月22日に鹿児島県で行われた九州予選のバトン編成部門に出場しました。ダンスやバトン技術をはじめ、選手12人の隊形や動きの統一も、競技の重要な採点要素。他の強豪校と比べ経験者が少なく厳しい条件でしたが、細川未久主将は「未経験から始めた分、チームの結束が固い。1曲を大事に全力で挑みたい」と大会前に抱負を語っていました。迎えた当日、結果は5位。悲願の全国へは一步及びませんでした。が、優秀な演技が評価され金賞



↑ 顔の向きや腕の角度など細部まで統一するため、同じ動作を反復練習。

を受賞。顧問の益永教諭は「ミスもあったが、位置取りや動きは今までで一番統一されていた」と健闘を讃えました。今後は11月に行われる3年生最後の大会で、全員が心を合わせた最高の演技を目指します。



今年は絶品スイーツに加え町内店舗によるグルメも大好評！

食 Sweets & Gourmet



開場と同時にできた行列がイベント終了間際まで絶えなかった人気店も。各店舗で商品が無くなっては補充が繰り返され、場内は終始にぎわいました。



ドームの甘い香りとは一転し、食欲をそそる匂いが漂った新設「グルメストリート」。ほとんどの店舗で完売となりました。

ふくち★リッチビール誕生

新 たな特産品として開発した福智産のあまおう苺などを使った「ふくち★リッチビール」3種を初披露。町内店舗によるビールに合う絶品グルメ11品と博多ミラベル21加盟のフレンチレストラン「ピサンリ」の2品が並びました。

その規模、まさに九州最大

過 去最多となる57のスイーツ店が県内から集結しドームを埋め尽くしました。各店舗がそれぞれ華やかなショーウィンドウから甘い香りを漂わせ、来場者は目移りしながらイートインやお土産の品選びを楽しみました。

GRANDTEA&SWEETS CEREMONY

FUKUCHI FIND FESTIVAL 2017

食器音楽

福智スイーツ大茶会

特産品をはじめとした「食」、河村光陽の「音楽」という地域資源を結びつけ、という特徴を生かし

上野焼の「器」、福智ならではの「茶陶」実現しました。



上野焼とのセット企画



各日100人限定で提供された特製スイーツと抹茶セットをいただく専用の茶席を設置。上野焼の花器など福智ならではの装飾が茶席の雰囲気より一層高めました。

茶陶・上野焼で彩る平成の大茶会



上野焼の魅力を広くPR

陶 器の魅力は使ってこそ感じられるもの。まずは上野焼に触れていただけるようお茶席や茶道体験、スイーツやドリンクとセットの特別販売などを企画し、茶陶をPRしました。

上野焼の400年以上の歴史には、茶の湯で用いられてきた「茶陶」としての誇りが息づいています。ステージでは裏千家辻村社中が上野焼を使った野点でお点前を披露。体験型のワークショップも行われました。



オープニングセレモニーでは福岡県洋菓子協会の三嶋会長と来賓が上野焼のカップで乾杯。



過去最多57の県内有名スイーツ店舗が出店した大茶会。九州最大規模を誇るスイーツイベントで福智をブランド化。

今 年で5回目の節目を迎えた町のメインイベント「福智スイーツ大茶会」が10月14日から2日間、金田ドームで開催されました。のべ350人のスタッフ、出演者、71の協力団体に支えられ、魅力も規模も大きくグレードアップ。あいにくの雨天にもかかわらず、2日間で3万人以上が訪れ、福智の魅力を発見・満喫しました。

町の地域ブランド化を目的として多くの協力を得ながら開催してきた福智スイーツ大茶会。今年も着実に認知度を上げ、将来のまちづくりにつなげました。



福智町音楽祭が融合した多彩なステージ

童謡の町ならではの演出

福 智町文化連盟から8団体74人が出演し「福智町音楽祭」を開催。童謡作曲家・河村光陽の生誕地として育まれた自慢の歌声がスイーツドームを包み込みました。

想いが込められた歌声に感動！



スペシャルゲストにシンガーソングライターの川嶋あいさんを迎え華やかに開催されたステージ。2日間をとおしてクラシックやジャズ、アコースティックなど多彩な演出で来場者の心を魅了しました。



器 Aganaware

音楽 Music Stage

お願い

林道の一般車両乗り入れ規制



保全と産廃防止のため 林道9kmを通行止め

問 農政課 農業土木係 ☎ 22-7767



←方城スカイラインの林道
約9kmが該当。規制区間の
入り口から封鎖しています。

現在、福智町林道で産業廃棄物などの不法
投棄が後を絶ちません。林道保全のため、
車両の乗り入れを11月から規制いたします。ご迷
惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

お知らせ

全国瞬時警報システム(Jアラート)



緊急事態の発生に備え 全国一斉で放送試験

問 総務課 消防防災係 ☎ 22-0555

Jアラートの情報伝達訓練を次の
とおり行います。町内103か所
の防災行政無線から一斉放送されます。

▶日時 11月14日(木) 11:00ごろ



ニュース

田川防犯協会連合会 防犯ブザー贈呈式



子どもを狙った犯罪0を 願って防犯ブザー配布

問 学校教育課 学校教育係 ☎ 22-1192

「自分の身は自分で守る」という防犯意識を高
めるため、田川防犯協会連合会が管内の小
学1年生全員に防犯ブザーを無償配布しました。

10月11日に田川市
で贈呈式が行われ、辻村哲弥教育
長に福智町の204
人分の防犯ブザー
が手渡されました。



←田川防犯協会連合会会長(二場
公人)田川市長から防犯ブザー
を受け取る辻村哲弥教育長(左)

お知らせ

福智町児童虐待防止講演会



困難抱えた子どもたち 支援の経験語る

問 福祉課 福祉係 ☎ 22-7763

児童相談所に寄せられた昨年度の虐待相談
件数は全国で12万件以上。この数は年々
増え続け、もちろん福智町も例外ではありません。
今回は「虐待・非行・発達障害・困難を抱えた子ど
もへの理解と支援」をテーマに講演。この機会に
子どもへの接し方をもう一度考えてみてください。

▶日時 **11月30日(木)** (18:30～受付)
19:00～20:30

▶場所 福智町地域交流
センター **入場無料**

▶講師 土井 高德 氏

【Profile】困難を抱える子ども支
援の取り組みがTV等でも紹介
され、全国から注目を浴びてい
る。青少年療養施設「土井ホー
ム(北九州市)」代表。学術博士。



お知らせ

赤池中学校女生徒像を守る会



思い出の像を守るため 有志の会が支援募る

問 福智町立赤池中学校 ☎ 28-2117

赤池中学校の北側
で静かに校舎を
見つめてきた「女生徒
像」。昭和29年に当時
の美術部員が故・久原
弘先生(旧赤池町名誉
町民)と共に制作した貴
重な像です。しかし63
年が経過し、傷みが激
しく倒壊の恐れがあるこ
とから、有志による「赤
池中学校女生徒像を守
る会」が立ち上がり、思
い出の像の修復に向け
た支援を募っています。



↑新校舎建設時には存続が検討
されつつも、卒業生の熱い想
いで解体されず、63年もの間、生
徒を見守り続けてきた女生徒像。

参加募集

方城児童センター「親子もちつき大会」



“つきたて”をほおぼる 親子もちつき大会

問 福智町方城児童センター ☎ 22-7403



←「うす」と「きね」を使って自分でつく
った「つきたて」のおもちの味はきつと格別

おもちを食べる機会はあっても、つく機会は
意外と少ないもの。お子さんと協力しながら
昔ながらの「もちつき」を体験しませんか。試食あり。

▶日時 **12月3日(日)** 10:00～

▶場所 福智町方城児童センター(伊方4488番地1)

※参加無料／11月24日(金)までに要申込

参加募集

福智町商工会主催セミナー



町内商工業者を対象に 無料セミナー開催

問 福智町商工会 ☎ 28-5055

商工業者や創
業予定者を
対象とした無料セ
ミナーが商工会主催で
行われます(要申込)。



←両セミナーの開催会場
は福智町商工会館(赤池)。

【生産性向上・事業計画策定・5Sセミナー】

5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を活用して
事業計画を策定し、生産性の向上を目指します。

▶日時 11月11日(木) 13:30～17:30

▶申込 11月10日(金)まで(定員20人)

【バランススコアカードセミナー】

バランススコアカードを活用した事業計画の策定。

▶日時 11月27日(木) 19:00～21:00

▶申込 11月20日(金)まで(定員20人)

お知らせ

平成29年度 人権週間講演会



一人芝居をとおして 「差別」と「人権」を考える

問 人権同和対策課 人権同和対策係 ☎ 22-7764

不登校の少年が旅をとおして成長する姿を
描いた山田洋次監督作品「15才学校Ⅳ」
を、一人芝居で演じる新しいスタイルの講演会。
12月4日～10日の人権週間に先がけて開催します。

▶日時 **11月22日(木)** 開場／18:30
開演／19:00

▶場所 福智町地域交流センター **入場無料**

▶演題 ぬくもりある人権のまち 福智町を目指して
～一人芝居「15才学校Ⅳ」を通して～

▶講師 福永 宅司 氏

【Profile】22年間の小学校
教諭、大学講師を経て、
現在は子育て・教育・人権
啓発の一人芝居を全国各
地で演じる講演家。「子ど
もの学び館」代表取締役。



参加募集

秋の福智町歴史散歩



町観光ガイドの案内で 福智の歴史めぐり

問 図書館・歴史資料館「ふくちのち」 ☎ 28-2855



←興国寺では一般公開され
ていない寺宝を特別公開。

歴史を楽しみながら秋の福智を散策してみま
せんか。歴史の舞台は音楽家・河村光陽
のふるさと上野～名刹「興国寺」。参加無料です。

▶日時 **11月18日(木)** 9:30～12:30

▶集合 「ふくちのち」玄関前(9:30厳守)

▶対象 高校生以上
(中学生以下は保護者同伴)

▶申込 11月15日(金)まで(定員20人)



なぜ県と一緒に運営するの？

勤務先の健康保険など他の医療保険に加入していない人が加入する国保。これにより、日本ではすべての人の医療保険加入が実現しています。しかし国保は勤務先の医療保険などと比べると高齢者の割合が高く、加入者の所得水準が低いといった構造的な問題を抱えています。そこで、市町村国保の財政を県単位化することで、安定的な財政運営を目指します。また、市町村事務の効率化・標準化・広域化を推進します。

県の主な役割	市町村の主な役割
国保運営の中心的な役割 (財政運営の責任主体) ●市町村ごとの国保事業費納付金を決定 ●各市町村の標準保険料率を提示 ●給付に必要な費用を、全額、市町村へ支払い ●国保の統一的な運営方針を決定	加入者に身近なきめ細かい事業 ●加入者の資格管理(各種届出の受付・保険証の発行等) ●保険料の賦課・徴収 ●給付の決定、支払い ●国保事業費納付金を県に納付 ●保健事業など、加入者の健康づくりのための事業を実施

平成30年4月から変わること

保険証等の様式が変更

▶県も国保の保険者となるため、保険証や限度額適用認定証等の様式が変わります。▶交付済みの保険証は平成30年4月1日以降の最初の保険証更新時に変更となる予定です。▶福智町の次回一斉更新は平成30年8月です。

資格の取得・喪失が県単位に

▶現在はお住まいの市町村が変わると市町村ごとに国保資格の取得・喪失が生じますが、来年度からは県内で他の市町村に異動しても国保資格の取得・喪失にはならず、住所変更の届出をするようになります。▶県外へ異動した場合は国保資格の取得・喪失が生じます。

高額療養費の多数回該当を県単位で通算

▶多数回該当とは、過去12か月間で高額療養費の対象となった月数が4回以上になった場合に、4回目から自己負担限度額が引き下げられる制度です。▶県内での住所異動であれば高額療養費の多数回該当が通算されるようになるため、加入者の負担が軽減されます。

保険料の納付や給付の申請、届出などは、これまでどおり役場住民課の窓口で行えます。加入者にとって医療の受け方は変わりません！

保険証は来年8月の一斉更新または4月以降の更新時に変更になります！



国民健康保険に加入のかたへ

県と市町村の役割はどうなるの？

県は、各市町村が保険料を決めるために参考とする標準保険料率の提示や、県内国保の運営方針を策定するなど、市町村と協力して国保の運営を行います。

来年4月から国保制度が変わります

問 役場住民課係
☎22-7761

筑豊地区 合同公売会 in 田川

商品券や時計など約60点出品予定！

税金の滞納を解消するため、筑豊地区の県税事務所や市町村が差押えた財産を出品する「合同公売会」を開催します。今回は商品券や時計など約60点を出品予定。どなたでもお気軽にご参加ください。

【筑豊地区合同公売会 in 田川】

▶日時 11月11日 開場／9時30分 開始／10時30分
▶場所 田川市民会館(田川市総合体育館横)
▶購入方法 オークション(せり売り)

どなたでも参加できますが、当日(開始前)に公売参加登録申請が必要です。9時30分～10時15分の間に受付をすませてください。

▶必要なもの 代金、身分証明書、印鑑
※代理で参加される場合は委任状が必要です。

11・12月は県下一斉徴収強化月間

納期限を過ぎても納税していない人は、早めの納税を。

STOP 滞納

福 智町では、県および県内市町村と連携し、個人住民税をはじめとする地方税の徴収率向上と滞納の縮減を図るため、11・12月を「県下一斉徴収強化月間」として、広報による納税推進、滞納者に対する催告の強化、差押えやタイヤロック、捜索による滞納処分の強化などさまざまな徴収対策に取り組みます。

税金は皆さんの暮らしを支える貴重な財源。この機会に納め忘れの税金がないか確認しましょう。

口座振替をご利用ください

便利で安心な口座振替

▶町税の納付方法は「口座振替」が選択できます。口座振替にすると、納付期限月の25日(振替日が休日の場合は翌営業日)に口座から引き落とされます。“ついうっかり”を防ぐ便利で安心な口座振替をぜひご利用ください。

納税に関するお問い合わせ

税金の種類をご確認ください

▶税金の納付や相談窓口は、税金の種類によって「税務課」か「県税事務所」となります。納税通知書などで確認のうえ、お問い合わせください。

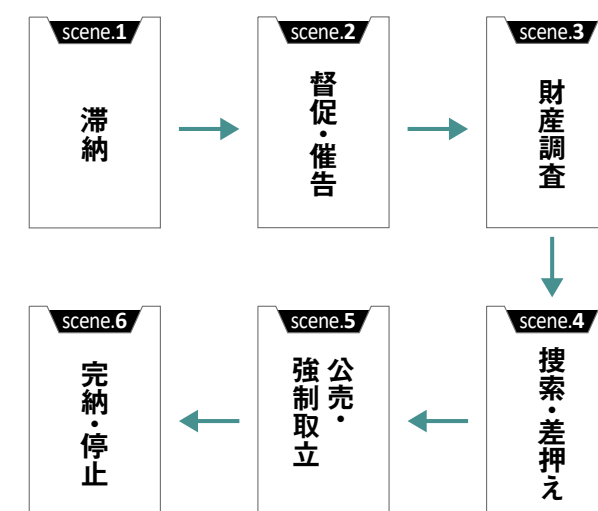
問 役場 税務課 収納対策係 ☎22-7762

町の徴収強化月間での取り組み

11・12月は滞納処分を強化

▶一斉催告、勤務先への電話等、差押えなど滞納処分を強化します。

【滞納処分の流れ】

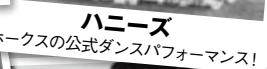


pick up 第12回豊徳祭のお知らせ

多彩なステージや
グルメをお楽しみに!



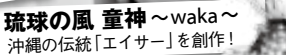
萌音 (もね)
福岡を中心にライブやイベントで活躍中!



ハニーズ
ホークスの公式ダンスパフォーマンス!



福岡県立大学吹奏楽団
誰もが知る楽しい曲を演奏します!



琉球の風 童神 ~waka~
沖縄の伝統「エイサー」を創作!

共に生きる～笑顔と笑顔のかけ橋に～

日時▶11月18日(土)11:30～
場所▶方城グラウンド **入場無料**
※雨天時は方城体育館で開催。
問 社会福祉法人豊徳会 ☎ 22-7705

心配ごと相談

- 11月18日(土)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。
- ① 日時 11月2日(土)10時～15時
場所 人権のまちづくり館
 - ② 日時 11月9日(土)10時～15時
場所 公民館方城分館
 - ③ 日時 11月18日(土)10時～15時
場所 金田社会福祉センター
 - ④ 日時 12月7日(土)10時～15時
場所 人権のまちづくり館
- 問 社会福祉協議会 ☎ 22-6631

補聴器相談

- 日時 11月10日(金)9時～10時
場所 役場本庁舎
 - 日時 11月13日(月)11時～12時
場所 役場方城支所
 - 日時 11月13日(月)13時～14時
場所 役場赤池支所
- 問 役場福祉課 ☎ 22-7763

子育て支援センター行事

- 就学前のお子さんと保護者が対象。④以外は10時30分開始です。
- ① 親子リズム遊び▶11月10日(金)
 - ② はみがき教室▶11月14日(火)
※歯ブラシ持参。予約は不要です。
 - ③ 誕生会▶11月24日(金)

田川合唱団チャリティーコンサート

- 前回「涙が出た」といった感想が多く寄せられた田川合唱団によるチャリティーコンサート。童謡のほか中島みゆきの「時代」「糸」など感動の歌声をお届けします。観覧無料。
- 日時 11月9日(土)12時10分
 - 場所 役場本庁舎1階ロビー
- 問 田川合唱団 植高代表
☎ 090-4351-4263

しごと・ボランティア合同説明会

- 「職場や地域で活躍したい」「社会のために役に立ちたい」そんな高齢者の皆さんを後押しします。企業との面談ブースのほか、専門相談員が皆さんのご希望を丁寧にお伺いする相談ブースも用意しています。

※11月生まれは21日(火)までに予約。

- ④ おはなしなあに?絵本の読み聞かせ▶11月30日(土)11時
 - ⑤ 親子リズム遊び▶12月8日(金)
- 子育てサロンを開放しています。
▼月～金10時～16時
問 子育て支援センター ☎ 22-2401
- ほのぼの介護予防教室
- 日時 11月22日(水)
 - 9時50分～11時10分
 - 場所 方城保健センター
- テーマ 住宅改修・福祉用具の活用
問 方城在宅介護支援センター
☎ 22-6556

弁護士出張無料相談

- 弁護士による出張無料相談を実施します。年度内お一人一回のみ。
- 日時 12月7日(土)13時～16時
 - ※当日11時までに役場総務課へお申込みください。
 - 場所 人権のまちづくり館
- 問 役場総務課 ☎ 22-0555



↑筑豊弁護士会から弁護士が来町。無料で相談できます。

こころの健康相談

こころの悩みや病気を一人で悩まず、医師に相談してみませんか。
※参加無料、要予約

- 日時 毎月第2(土)10時～
毎月第4(土)14時
 - 場所 田川保健福祉事務所相談室
(福岡県田川総合庁舎4階)
- 問 田川保健福祉事務所 健康増進課
精神保健係 ☎ 42-9307

有料道路障害者割引の更新申請

有料道路の障害者割引は、有効期限を過ぎると受けられなくなります。更新申請は身体障害者手帳または療育手帳に記載されている有効期限の2か月前からできますので、忘れずに申請してください。

問 役場福祉課 ☎ 22-7763

県巡回事故相談

- 日時 11月20日(月)10時～15時
 - 場所 田川市役所
- 問 交通事故相談所
☎ 092-643-3168

寝具洗濯サービス

65歳以上の高齢者世帯や身体障害のため寝たきり状態の人で、寝

犯罪被害者相談電話

犯罪被害にあったかたの心のケア窓口「ミス・リリーフライン」。女性の臨床心理士が相談に応じます。

- 受付時間 平日▼9時～17時45分
- ☎ 092-632-7830

※性犯罪被害者には「#8103」で24時間相談に対応しています。

ひとり親サポートセンター

ひとり親家庭などを対象に、ハローワークと連携した就業支援や養育費相談などを行っています。まずはお電話でご相談ください。

- 受付時間 平日▼9時～17時
- ☎ 0948-21-0390

平成29年分年末調整説明会

- 日時 11月15日(土)13時50分
 - 場所 田川青少年文化ホール
(田川市平松町3番36号)
- ※関係資料は事前に送付しますので必ずご持参ください。
- 問 田川税務署 ☎ 44-4576

女性の人権ホットライン強化週間

11月13日～19日を「女性の人権ホットライン」強化週間として、通常の電話相談時間を延長します。

具の洗濯が

困難な人を対象に、※寝具を1週間預かり、洗濯後納品します。対象となるかの確認のため、聞き取り調査や審査が行われます。

負担金 648円

申請期限 11月30日(木)

回収▶12月7日(土) 納品▶14日(土)

問 地域包括支援センター
☎ 28-9502

改正育児・介護休業法

育児・介護休業法を10月1日に改正。子どもを保育所に入れられずに退職を余儀なくされる事態を防ぐため、2歳まで育児休業を取得できるようにしました。詳細は厚生労働省ホームページでご確認ください。

問 福岡労働局雇用環境均等部
☎ 092-411-4894

福岡県最低賃金額の改定

福岡県の最低賃金が10月1日から24円アップし、次のとおりとなっています。必ずご確認ください。

最低賃金▶1時間789円

問 福岡労働局労働基準部賃金室
☎ 092-411-4578

就活Jobフェア合同会社説明会

- 暴力やセクハラ、ストーカーなど、一人で悩まずご相談ください。
- 受付時間 平日▼8時30分～19時
土・日▼10時～17時
 - ☎ 0570-070-810 (全国共通)
- 日時 11月11日(土)13時～16時
- 場所 飯塚市役所多目的ホール
- 対象 おおむね40歳未満の求職者
- ※参加無料、入退場自由、予約不要
- 問 30代チャレンジ応援センター
☎ 092-720-8831

へいちくカレンダー好評販売中

沿線の四季折々の風景と車両がマッチした平成筑豊鉄道オリジナルカレンダーを好評販売中。町内では「金田駅」と赤池駅隣接の「お好み焼き美代」で取り扱っています。

サイズ A2フルカラー計7枚

販売価格 1部600円(税込み)

問 平成筑豊鉄道 ☎ 22-1000



※美しい写真24点を使用。郵送もできるので、遠くのかたへの贈り物にも。

11月 ふくちのち イベントカレンダー

1 水	休館日
2 木	11:00-11:30 おはなし会（乳幼児向け） 子どもの本の展示（～26日まで）
3 金	限定50本
4 土	10:00- ふくおかの花プレゼント 10:30-12:30 多肉植物ワークショップ★ 13:30-15:00 11:00-11:30 ぶらんこのおはなし会
5 日	10:30-12:30 切り絵講座★ 14:00-16:00
6 月	
7 火	休館日
8 水	ダンスユニット「horamiri」による公演。「おやゆびひめ」のストーリーを、まるで絵本から飛び出てきたようなダンスと音楽で表現します！
9 木	
10 金	
11 土	14:00-15:00 「知る」ってたのしい！inふくちのち★ 14:00- 上映会（大人向け）★ 『英国王のスピーチ』
12 日	14:00-15:00 おはなし会（子ども向け）
13 月	
14 火	休館日
15 水	
16 木	11:00-11:30 おはなし会（乳幼児向け）
17 金	
18 土	11:00-12:00 赤いふうせんのおはなし会 14:00- 上映会（子ども向け）★ 『日本の昔ばなし 浦島太郎』
19 日	10:30-12:00 鶏ハムづくり（料理教室）★ 13:15-15:00 ぶらんこ「絵本のつどい」
20 月	
21 火	休館日
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	11:00- 上映会（乳幼児向け）★ 『トムとジェリー』 11:00-12:00 ミニゲームデー 14:30-16:30
26 日	ものづくりフェスタ2017 14:00-15:00 おはなし会（子ども向け） 14:00-16:00 朗読講座★
27 月	
28 火	休館日
29 水	
30 木	
12/1 金	休館日



月刊
ふくちのち
ワクワク亭
かわら版

福智町図書館・歴史資料館
ふくちのち
http://fukuchinochi.com
10:00-19:00
福智町赤池970-2
☎ 28-2855

投票で最も読みたい本を決定！ 大学と連携し「ビブリオバトル」各校で開催



得票同数で1位☆
弁城小 永富蒼太くん、稲富いおさん、太田拓海くん



上野小 小松輝欄さん

ふくちのちと町内小中学校、九州国際大学が連携し開催している「ビブリオバトル」。9月に上野小、10月に弁城小で開催され、それぞれが気に入りの本を紹介し合いました。



ふくちのちで「ものづくり」を楽しもう！
ものづくりフェスタ2017

FUKUCHI JAM ミニ四駆レース
館内に設置された特設コースでスピードを競います。ふくちのち設置のエントリー用紙または電話でお申し込みください。10:00～／定員：50人（300円）



X'mas スノードーム作り
10:00～／13:00～／15:00～
定員：各10人（300円）



走れ！ソーラーカー
太陽光で動く車を作りコースを走らせよう！
11:00～／定員：10人（500円）

電子手芸にチャレンジ
フェルトと基板やLEDを、電気を通す「導電糸」で縫い合わせる電子手芸！
14:00～／16:00～／定員：10人（300円）

★すべて事前申込が必要です（電話可）。
★参加費は当日ご用意ください。



新着本



児童書

末ながく、お幸せに（小学館）
あさのあつこ／著
やばい老人になろう（PHP研究所）
さだまさし／著
がんばりすぎないごはん（主婦と生活社）
近藤幸子／著
マンガでわかる天才仏師！運慶（JTBパブリッシング）
田中ひろみ／著

おててをぼん（学研プラス）
ささがわいさむ／作
「逆上がり」だってできる！魔法のことはオノマトペ
藤野良孝／著（青春出版社）
竜が呼んだ娘 やみ倉の竜（朝日学生新聞社）
柏葉幸子／作
てをつなぐ（金の星社）
鈴木まもる／作

福智の風

▶毎週、天気心配ばかりしていた10月。スイーツ大茶会は雨にもかかわらず多くのかたにお越しいただきましたが、秋祭りは2日間とも雨。山笠に雨対策をしながらも負けじと運行する様子が印象的でした。残念ながら2日目の山笠競演会は中止となりましたが、祭りの様子は例年よりひと月遅れの12月号でお伝えいたします。（日吉）

▶スポーツの秋、初めて特集を担当しました。結果を残す選手の言葉には重みがあり、何度も文を書き直しました。全員に共通したのは、競技が好きであること。楽しむことが努力に、そして結果につながることを感じました。選手が活躍に至る過程や目標に向かう努力を紹介し、少しでもスポーツの魅力が伝わる紙面になっていれぱと思います。（田代）



写真が語る
なれの写真館

家畜品評会
撮影日●昭和33年10月
撮影場所●田川市

田川市で行われた家畜品評会で、町内の牧場から出品された乳牛が審査を受ける様子。当時は畜産業が盛んに営まれており、このようなイベントが各地で開催されていました。

昔の写真を探しています！
図本庁2階広報・広聴係
☎ 22-7766

赤池隣保館句会	池田一步選
晩秋の光柔らかし九十九島 園児等の声飛んで来る秋日和 寿福寺の年尾忘の事石落咲けば 歩くほど軽くなる足野菊晴 福々と茶の花咲きし狭庭かな 太りゆく栗の葉影に見ゆるかな 立ち止まる人影なくて冬紅葉 麓まで稲の実つて米所	千手 弘子 大久保幸子 水上 翠人 芳野もと子 石井 恵子 小場 妙子 熊谷カツミ 池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室	岩井鬼童選
招き猫玄閑に置き厄日過ぐ コスモスの雨は嫌ひといふ形 運動会転んで悔し膝こぞう 校長は元陸上部体育祭 廢鉦の島に色なき風吹けり 幸せを口笛に乗せ花野ゆく 爽やかに挨拶かはし舗道掃く うかうかと老いゆく左脳とろろ汁 すむ海を見ながら食べる海せん井小四 西田 咲笑	建部三由紀 松岡 蒿枝 西田 真美 岩井 童子 桂 啓子 小川 雪 小野 美幸 加藤きみ子

方城句会	池田一步選
せゝらぎを風の神吹き秋高し 佳き友の舞目のあたり秋扇 秋冷に不意を衝かれて目覚めけり 蓮の実の命育む堅さとも 秋海棠妣が愛して尚も咲く 鳴の湖月も耀ふ比良の峰 店先の投げ生け映えて彼岸花 秋天の雲つかむかにクレーン延ぶ 静けさを数きつめてをる落葉かな	木村 誠一 倉石 小夜 白石 凡子 杉 フジエ 長尾 冴子 藤井耿之介 山本恵美子 渡邊 一枝 尾崎 和子

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

越智 早苗 福田 キヨ子 桑野 昭子 村上 美幸 白石 清和 白石 信子 三村 和子 福田 昌	彼岸花 棚田の畦は紅に満ち稲の穂捻り頭を垂るる 釈迦像に稚児は並びて甘茶かく一服の茶はほんのり甘し 黄金色の稲穂を渡る温き風温暖下古里の米はうまいか 病室の窓より聞こゆ虫の声留守居の夫はいかに居ますや 畑には黍に黒豆さつまいも今年も秋の穰り来りぬ 現世の身はくちはつるも無量寿のいのちかがやく涅槃のぞみて 教へ子の八十歳の同窓会「よく叱られました」と涙で迎えらる 秋彼岸射場に立ちて矢を放つ赤トンボの群れ矢を避けて飛ぶ
--	--

ともしび短歌会短歌詠草

兆 認知症サポーター養成講座 しに気づく細やかな気配りを

町主催の認知症サポーター養成講座が9月25日に商工会館で行われました。事業者向けは初開催で、商工会加盟店の10人が基礎知識や初期症状を見極めるポイントを学習。親子で参加した発案者の甲斐さんは「お客さんとのトラブルは年々増えている。早期発見の手助けをしたい」と日常の実践に意欲を語りました。



↑目を見て話を遮らないなど、対応のポイントを確認し、参加者同士で実践練習。

↓コースは福岡市の人気フレンチレストランの本田フレンチシェフ(田川出身)が創作。



田川グルメ&スイーツ列車「シュガーロード号」 田川の食材を使ったグルメ列車初運行

県と田川8市町村の連携による初の観光列車が10月7日に直方～油須原間を走りました。上野焼の器で本格フレンチ5品が提供された「へいちく浪漫号」内はレストランさながら。33組の応募の中から抽選で選ばれた県内各地の10組20人は、田川ならではの風景を眺めながらぜひいたくなひとときを堪能しました。

↓くす玉が割られ、嶋野町長⑤と鳥越館長⑥から新苗ちゃん(左から2番目)へ記念品が手渡されました。



年 「ふくちのち」来館者数10万人突破 年間目標を5か月早く達成

10月14日に図書館・歴史資料館「ふくちのち」の来館者数が10万人を突破しました。開館当初の3月に設定した年間目標数を約5か月も早く達成したことになります。節目の来館者は、町内のイベント帰りに初めて来館したという洲上新苗ちゃん(飯塚市)。母・彩さんは「きれいで本が探しやすい、ぜひまた来たい」と話し、図書カードを作成しました。

糸 へいちくフェスタ2017 糸田線開業120周年の節目飾るフェスタ

糸田線開業120周年を記念した平成筑豊鉄道の「へいちくフェスタ」が、本社のある「金田駅」で10月14日から2日間開催されました。45店以上が出展した駅ナカマルシェをはじめ乗車体験やイモ掘り体験、鉄道部品の販売など、駅を身近に満喫できる企画がめじろ押し。会場の構内や車内は多くの人出でにぎわいました。



↑車内で鉄道模型を展示したミニ鉄道記念館も、親子連れの人気を集めました。

↓350食のソバを手打ち。購入の列に並ぶ客も熟練の手さばきに釘付けでした。



新 ソバの花フェスタ2017 米や農産物も楽しめる美味しい催し

17回目となるソバの花フェスタが中原集会所(伊方)で10月8日に行われ、ステージイベントや新米300kgのすくい取り大会、直売などでにぎわいました。また、今年は会場周辺のソバ畑を例年の倍以上、約3万㎡に拡張。ソバ畑で遊んだり、白く広がる花のじゅうたんをカメラに収めたりする様子が見られました。

広 2017福智町「日韓交流事業」 広い視野と友情育んだ韓国での3日間

町内の小学5・6年生14人が9月16日から2泊3日の日程で、上野焼開祖・尊楷ゆかりの地である韓国泗川市を訪問。東城初等学校の22人と交流しました。古窯跡の見学や螺鈿漆器の工芸体験をはじめ、寝食を共にしながら交友を深めた子どもたち。異なる文化や言葉の壁を越え、海を越えた友情を育みました。



↑李朝時代の教育機関にあたる泗川郷校で、韓国の文化を体験する子どもたち。

↓上野焼陶芸館で真剣に品定め、隣接するふれあい市でも大売り出しを開催。



被 第22回 上野焼秋の窯開き 被災した小石原に向けチャリティー活動

上野焼の新作や割引商品が並ぶ「秋の窯開き」が10月13日から3日間、上野焼陶芸館と13窯元で開かれました。今年もJAL航空券や器など豪華景品が当たるスタンプラリーを開催。また豪雨で被災した小石原焼に寄付するチャリティーオークションなども実施され、多くの陶芸ファンが陶郷・上野を訪れました。



なかしま かぐら
中島 華楽ちゃん②
H27.11.14 生 (伊方 鶴ヶ丘)



ながせ かのん
永瀬 禾暖ちゃん②
H27.11.7 生 (上野 天郷)



たしろ なな み
田代 七海ちゃん①
H28.11.26 生 (弁城 春田)



かつき はる
香月 晴瑠くん①
H28.11.19 生 (弁城 宝珠)



ふじもと かず や
藤本 和也くん①
H28.11.17 生 (神崎 星ヶ丘)



はな もと しゅうえい
花元 柊栄くん①
H28.11.11 生 (赤池 上の原団地)

HAPPY BIRTHDAY

11 月生まれ

ふくち玉手箱
Fukutama

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

1歳～3歳のかわいい笑顔あつまれ

- 申込期限は毎月お誕生月の前月10日(土・日・祝日の場合は翌開庁日)。12月生まれのお子さんは**11月10日(金)**までに写真またはデータを提出してお申込みください。
- ※ 締切日を過ぎると掲載できません。
- ※ 写真データがある場合は、データを提出してください。
- ▶ 役場本庁2階
- 広報・広聴係 ☎ 22-7766



やの いが き
矢野 偉麒くん③
H26.11.6 生 (神崎 星ヶ丘団地)



たけ もり りん たろう
竹森 凜太郎くん③
H26.11.10 生 (赤池 高尾団地)



たつしま ほの か
辰島 帆香ちゃん③
H26.11.7 生 (金田 上金田)



かい みゆ こ
甲斐 美結子ちゃん③
H26.11.1 生 (上野 大谷)



あいむ た ゆい
相牟田 ゆいちゃん②
H27.11.18 生 (金田 平原)



ひさ とみ せ な
久富 星七ちゃん②
H27.11.14 生 (上野 徳市)

子育て支援センターわくわくミニ運動会



→思わず手が出る「パン食い競争」

子育て支援センターで9月26日に「わくわくミニ運動会」が開かれ、32組の親子が参加しました。障害物競争や福天とのダンス、パン食い競争、おみやげ取りなど、手作りの遊具を使いながら、6つのプログラムを親子で楽しみました。

悟空の活躍を応援した親子で楽しむタペ



→三蔵法師を守る天竺の旅の物語

青少年育成町民会議主催の「親子で楽しむタペ」が10月17日に人権のまちづくり館で開催されました。「人形芝居かすべる」が「西遊記そんごく」を公演。如意棒を手にと、筋斗雲に乗って活躍する孫悟空を約250人の親子連れが応援しました。

筑豊フェアで好いとん隊と福天がPR



→ステージPRで福天が町を紹介

10周年を迎えた「筑豊フェア」が天神中央公園(福岡市)で9月30日に開催され、15の市町村が特産品などを販売。福智町からは福智好いとん隊が、名物の方城すいとんを100杯販売し、観光パンフレットなどで福智の魅力をPRしました。

県民文化祭の将棋大会で松本さんが優勝



→松本さん中央と同好会メンバー

福岡県ねんりんスポーツ・文化祭将棋交流大会が10月1日に行橋市で開催され、約90人が参加。「ふくちの郷将棋同好会」の松本光雄さん(伊方)が優勝しました。**会員募集 場所**▶昭和町生活館 **日時**▶毎週 19:00～ **問** 原田代表 ☎ 22-3437

金田剣友会の少年剣士が殊勲の上位入賞



→鍛錬の成果を見せた前列の3人

香春町長・議長杯剣道大会が9月3日に行われ、金田剣友会Bチームが入賞しました。上位候補のAチームが敗退した中、小学6年生の安方小次郎くん、5年生の池田葵さん、日比生まおさんが、全30チーム中3位の健闘を見せました。

広域のクイーンビースが福智町で初活動



→PRする福智町の松島さん(左)

田川市郡広域の観光PRを担うキャンペーンレディー「Queen Bees」の第1期メンバーが、10月15日のスイーツ大茶会で地元をアピールしました。福智町出身で選ばれた松島唯さん(伊方)は「田川の魅力を知り、広めていきたい」と抱負を語りました。

遠賀川流域で連携し伊方古墳を一般公開



→全長約11mの伊方古墳の石室内

遠賀川流域古墳・遺跡同時公開が10月14日から2日間行われ、福智町の伊方古墳が一般公開されました。雨の中、町内外から30人が訪れ、田川地域最大級の横穴式石室を見学。積み上げられた花こう岩の巨石や丁寧な造りを観察しました。

福智を想い奏でたフルートの癒しの音色



→ピアノの丸山いつみさんと共演

フルート奏者の森山仁美さんが、10月14日に地域交流センターでコンサートを行いました。2年前福智町に転居した森山さんが町に貢献したいと2年前から開催。約90人が聞き入った演奏会の収益の一部は「ふくちのち」に寄贈されました。

福智町

ふるさと納税通信

【平成28年度 ふるさと納税事業 実績報告】日本中からの応援で、福智をもっと元気に！

平成28年度の寄付金と積立額

寄付者選択使途目的	積立基金名	積立金額
町長に一任	減債基金	1億6,948万円
	地域振興基金	3億9,546万円
魅力ある人づくり事業	ふるさとづくり基金	1億7,086万円
活力あるまちづくり事業	地域振興基金	4億4,506万円
住んでみたくなる まちづくり事業	地域振興基金	6,568万円
	福祉基金	6,568万円
	公共施設整備基金	6,568万円
合計		13億7,790万円

平成28年度の事業充当額（27年度以前納税額分）

充当事業名	充当基金名	充当金額
ふるさと納税事業費	地域振興基金	5億3,298万円
	減債基金	9,402万円
図書館歴史資料館事業	ふるさとづくり基金	1億4,289万円
	減債基金	6,511万円
乳幼児医療（町独自分）	ふるさとづくり基金	1,100万円
予防接種委託料	ふるさとづくり基金	2,500万円
道路維持費	公共施設整備基金	7,500万円
合計		9億4,600万円

昨 年度、福智町に全
国から寄せられた
ふるさと納税の寄付金額
は13億7千790万円。
6万6千件以上もの寄付
を集め、町の知名度向上
と返礼品の生産者等の地
域経済活性化につなげま
した。この寄付金は、いっ
たん町の貯金にあたる「基
金」に積み立てられ、寄

付者のみなさんが選択す
る4種類の「使い道」に
沿って分類。翌年度に基
金を取り崩して、町の事
業に活用しています。



←福智町のふるさと納税カタログ

13億7千790万円
を基金に積み立て

図書館歴史資料館
事業などに活用

—— 昨年前の平成27
年度にふるさと納
税で寄せられた約11億
6千万円の寄付金を基
金に積み立て、昨年度に
取り崩して使った金額は
9億4千6百万円。

当初は各自自治体の魅
力的な返礼品が全国的
な話題となり、活性化
してきたふるさと納税制
度。今では、集められた
寄付金が、いかに有効で
価値ある事業に使われ
たかが注目されていま
す。その成果がさらなる
寄付にもつながることか
ら、今後は寄付金の活用
面も重視した事業展開
を推進していきます。



平成28年度は今年3月にオーブ
ンした図書館・歴史資料館「ふく
ちのち」の開設事業費の一部に
2億8百万円を活用。「魅力ある
人づくり事業」を使途に選んだ寄
付金を積み立てた「ふるさとづく
り基金」を取り崩して充当してい
ます。その他、乳幼児医療や予
防接種などにも活用されました。